

219

Part Two

Total Pages : 2

ENTRANCE EXAMINATION, 2018

Ph.D. in JAPANESE

[Field of Study Code : JAPH (850)]

Time Allowed : 3 hours

Maximum Marks : 100

Note : There are four questions arranged in two Parts. Part One has Question 1 and Question 2 which have to be answered in **Japanese or English**.

Part Two has Question 3 and Question 4 which have to be answered in **Japanese** only. All questions carry 25 marks each.

Part One

Answer in Japanese **OR** English :

50

日本語/英語で答えなさい

QUESTION 1.

日本語で論文を書くため原稿用紙の使い方に関して注意すべき点を書き並べて、
一つ一つ簡単に説明しなさい。

OR

日本語で論文を書くとき仮名遣いに関して注意をするべき点を書いて、説明しなさい。 25

QUESTION 2.

A) インドにおける 日本文学 OR 日本文化 の現状 を具体的に 述べなさい。 10

B) 作品論と作家論の違いを例をあげながら説きなさい。 15

Part Two

Answer in Japanese Only :

50

日本語で答えなさい

QUESTION 3.

25

あなたはめざしている研究テーマを具体的に紹介した上、つぎの点にふれながら論じなさい

- ◆ あなたの M.Phil の卒業論文の結論
- ◆ インドの日本研究におけるその重要性

QUESTION 4. 25

明治時代の始めに書かれた「小説真髓」の作家坪内逍遙が説いた「写実主義」と「原文一致体」の内容を説明し、これが、日本近代文学の発展に果たした役割を説明しなさい。更に、文壇上これに対する反対の声があったかどうか 論じなさい。

OR

平安時代の女流文学の発展の背景を論じて、貴方の好きな作品を選んで批評を書きなさい。
